

Q 馬鈴薯選果機の導入は今年度の出荷に間に合うのか。また、馬鈴薯選果機を導入することで、機能が向上するのか。

A 令和5年度産地生産基盤。パワーアップ事業を活用し、今年産より稼働予定で進めております。機能向上については、現行の選果機が老朽化により日量40t程の選果能力となっておりますが、新たな選果機については日量60tの選果能力を有しています。

Q 2024年問題、燃油高騰等により生産資材コスト、輸送コストが上昇している。農協として助成、対策等を検討してもらえないか。

A 農産物等の出荷については、有人国境離島法に基づく輸送コスト支援事業により海上輸送に係る8割を支援していただいております。今後、生産資材等の移入も含め要請を行って参ります。また、農協としての助成、対策等については、今年度の決算状況も踏まえて、事業分量配当等の検討を行います。

Q 農政連を通して、サトウキビ交付金単価を上げてもらうよう、強く要請するべきではないか。

A 甘味資源作物に対する中央要請については、毎年8月と12月にJAグループ、農政連にて実施しております。

Q 利用事業における集荷場利益がマイナスの要因は何か。

A 農家組合員の高齢化に伴う作付面積及び取扱数量の減少による収益減に加え、昨今の人件費、燃油の高騰などの費用の増加によるものが主な要因です。

Q 袋が破れた肥料の取り扱いについて倉庫の中に破れた肥料が積み残されているが、破れたものはどのような処理がされているのか。

A 破袋のうち、状態がいい物は袋の入れ替えをして販売いたします。品質が落ちて価値を有しない物についてはJAが所有するハウス等で使用しております。また、品質が落ちていても組合員からの要望があれば、若干価格を下げ販売しているものもあります。

Q 澱粉用甘藷は年々減ってきているのに前年対比181%で計画が立てられているのはなぜか。

A 事業計画については2月に策定を行っております。作付面積については前年同様、単収15俵、取引価格については1899円（前年対比+221円）で計画すると、前年対比181%の計画となります。すでに作付面積が昨年より60ha減少する見込みとなっておりますので計画達成は厳しい状況にあります。

Q 原料用甘藷の運賃について農協に要望するものではないが、長年変わっていないと思うので、業者会等で促してほしい。

A 一元集荷連絡協議会において協議を行い、業者運賃については改定を行うこととしてまいります。

Q 令和6年度目標に営農指導部門と購買事業部門とのワンフロア化に南種子稼働とあるが、場所はどこを考えているか。

A 場所については、現在の生産資材店舗敷地内でのワンフロア化を検討しています。南種子支所建物の老朽化による改装・移転も含め、総合的に検討を行って参ります。

Q 農業新聞に「食料・農業・農村基本法」の見直しの記事が載っていたが、組合員にはどのような影響があるのか。

A 改正「食料・農業・農村基本法」を受けた施策の具体化については、今後検討がされていくものと考えられます。施策において農産物の適正な価格形成の仕組みの法制化等が検討されるとの事から様々な影響が出てくるのが想定されます。

Q 資材の高騰が続く中、農産物の価格は上がらない。JAや県連も含めて支援の要望を行って欲しい。

A 農畜産物に対する中央要請

【全体運】 せっかちになっしまいがち。喜んでもらえる話でも相手の了承を得てから進めましょう。「報連相」が大事です
【健康運】 画面の見過ぎに注意。肩凝りは早めにケアを
【幸運を呼ぶ食べ物】 スダチ

蟹座
6/22
～7/22

